



平成25年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年11月5日

上場会社名 シップヘルスケアホールディングス株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 3360 URL <http://www.shiphd.co.jp/>  
 代表者 (役職名)代表取締役社長 (氏名)古川 國久  
 問合せ先責任者 (役職名)取締役経営企画室長 (氏名)横山 裕司 TEL 06-6369-0130  
 四半期報告書提出予定日 平成24年11月9日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第2四半期の連結業績(平成24年4月1日~平成24年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第2四半期	107,808	32.9	6,751	56.4	7,284	47.6	4,406	46.5
24年3月期第2四半期	81,116	11.9	4,315	32.2	4,936	27.2	3,007	△9.2

(注) 包括利益 25年3月期第2四半期 4,639百万円(103.6%) 24年3月期第2四半期 2,278百万円(△31.5%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第2四半期	106.81	—
24年3月期第2四半期	72.90	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第2四半期	130,876	38,446	28.9
24年3月期	129,989	35,256	26.7

(参考) 自己資本 25年3月期第2四半期 37,880百万円 24年3月期 34,738百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	0.00	—	35.00	35.00
25年3月期	—	0.00	—	—	—
25年3月期(予想)	—	—	—	30.00	30.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

平成24年3月期期末配当金の内訳 普通配当 30円00銭 記念配当 5円00銭

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日~平成25年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	218,000	15.4	12,000	18.4	12,750	13.3	7,500	6.7	181.73

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 有
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 第1四半期より減価償却方法の変更を行っており、「会計方針の変更を会計上の見積りの変更と区別することが困難な場合」に該当しております。詳細は、【添付資料】4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項」(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示をご覧ください。

#### (4) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数（四半期累計）

25年3月期2Q	41,259,500株	24年3月期	41,259,500株
25年3月期2Q	2,800株	24年3月期	2,800株
25年3月期2Q	41,256,700株	24年3月期2Q	41,256,700株

#### ※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

- この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

#### ※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

- 平成25年3月期の連結業績予想の1株当たり当期純利益の計算の基礎となる期中平均株式数につきましては、平成24年10月31日までの新株予約権の行使による増加株式数を反映させておりますが、本日公表致しました「連結子会社との会社分割（簡易分割・略式分割）に対する反対株主からの自己株式買取請求に関するお知らせ」に基づく影響は含めておりません。
- 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】4ページ「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 継続企業の前提に関する注記	11
(5) セグメント情報等	11
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	12

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、東日本大震災からの復興需要を中心として国内需要は回復基調にありましたが、円高の長期化、欧州の金融不安などにより不安定な状況が続いております。

当社グループの属する医療業界におきましては、診療報酬が増額改定された影響で大型病院を中心に収益が改善する一方で、薬価・償還価格の引き下げにより医薬品や医療機器の価格下げ圧力は厳しい状況が続いております。また、「社会保障と税の一体改革関連8法」が成立し、平成27年10月には消費税率が10%までに引き上げられる見通しとなるなど、将来の社会保障費増大に対する財源の確保が課題となりました。

このような経済状況の下、当社グループにおきましては、多数の大型のプロジェクト案件が第2四半期までに売上計上されるとともに、自社製品の販売が堅調に推移いたしました。一方で、薬価及び償還価格の引き下げにより、医薬品、循環器系デバイスの販売については厳しい状況で推移いたしました。また、介護施設運営におきましては、既存7施設が順調に推移したものの、昨年M&Aを行った介護施設が構造改革中である影響を受けるとともに、新たな投資に伴う先行費用が発生いたしました。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における売上高は107,808,997千円（前年同四半期連結累計期間比32.9%増）、営業利益は6,751,625千円（前年同四半期連結累計期間比56.4%増）、経常利益は7,284,223千円（前年同四半期連結累計期間比47.6%増）、四半期純利益は4,406,538千円（前年同四半期連結累計期間比46.5%増）となりました。

セグメントごとの業績を示しますと次のとおりであります。

#### ① トータルバックシステム事業

トータルバックシステム事業におきましては、大型のプロジェクト案件の売上計上が例年に比べ第2四半期までに集中したこと、特殊浴槽や無影灯、手術室の内装・医療ガス配管などの自社製品の販売が想定以上に好調であったこと等から堅調に推移いたしました。

この結果、売上高は39,567,526千円（前年同四半期連結累計期間比49.1%増）、セグメント利益（営業利益）は5,010,526千円（前年同四半期連結累計期間比112.9%増）となりました。

#### ② メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、岩手県立26病院における院内S P D業務を受託し順次稼働するなど、取引数量の拡大及び効率化が進捗する一方で、償還価格の引き下げにより循環器系デバイスの販売は厳しい状況が続きました。

この結果、売上高は50,827,572千円（前年同四半期連結累計期間比18.2%増）、セグメント利益（営業利益）は879,990千円（前年同四半期連結累計期間比0.9%増）となりました。

#### ③ ヘルスケア事業

ヘルスケア事業におきましては、昨年12月に実施した老人ホーム・グループホーム運営会社のM&Aにより施設数が増加したことに加え、食事提供施設の展開が進んだことにより売上高は拡大いたしました。一方で、M&Aを行った介護施設が構造改革中であることの影響を受け、利益は低調に推移いたしました。また、千葉県白井市に小規模多機能施設「リハモードヴィラ白井」をグランドオープンしたこと、デイサービス事業の新規展開を行ったことから先行費用が発生いたしました。

この結果、売上高は9,264,111千円（前年同四半期連結累計期間比143.7%増）、セグメント利益（営業利益）は325,523千円（前年同四半期連結累計期間比42.6%減）となりました。

#### ④調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規店舗出店が進んだことにより売上高は拡大いたしました。一方、薬価改定や医薬卸との交渉が厳しい状況にあることで利益確保が難しい状況が続きました。このため、グループの調剤薬局が一体となって経営効率化を図ってまいります。

この結果、売上高は7,635,831千円（前年同四半期連結累計期間比5.2%増）、セグメント利益（営業利益）は696,421千円（前年同四半期連結累計期間比11.2%減）となりました。

#### ⑤その他

その他におきましては、動物病院事業が順調に推移いたしました。また、理化学機器の販売も計画どおり進捗し、利益率も改善いたしました。

この結果、売上高は513,955千円（前年同四半期連結累計期間比0.6%減）、セグメント利益（営業利益）は78,109千円（前年同四半期連結累計期間比3.2%増）となりました。

### (2) 連結財政状態に関する定性的情報

#### ①資産、負債及び純資産の状況

当第2四半期連結会計期間末の資産は130,876,395千円となり、前連結会計年度末と比べて886,750千円増加いたしました。その主な要因は、受取手形及び売掛金が7,844,693千円減少した一方、現金及び預金が7,650,359千円、建物及び構築物が939,033千円増加したこと等によるものであります。

負債は92,430,198千円となり、前連結会計年度末と比べて2,303,134千円減少いたしました。その主な要因は、支払手形及び買掛金が943,301千円、社債が582,000千円、長期借入金が371,300千円減少したこと等によるものであります。

純資産は38,446,197千円となり、前連結会計年度末と比べて3,189,885千円増加いたしました。その主な要因は、配当金の支払により利益剰余金が1,443,984千円減少した一方、四半期純利益により利益剰余金が4,406,538千円増加したこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は28.9%（前連結会計年度末比2.2ポイント増）となりました。

#### ②キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結累計期間の営業活動によるキャッシュ・フローは10,846,402千円の収入（前年同四半期連結累計期間比4,874,188千円収入増）となりました。その主な要因は、法人税等の支払額が2,319,760千円あり、仕入債務が943,301千円減少し、たな卸資産が691,255千円増加した一方、売上債権が7,844,693千円減少し、税金等調整前四半期純利益を7,151,894千円計上したこと等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フローは1,117,701千円の支出（前年同四半期連結累計期間比2,298,840千円収入増）となりました。その主な要因は、長期貸付金の回収による収入が895,842千円、定期預金の払戻による収入が721,750千円あった一方、有形固定資産の取得による支出が1,487,702千円、定期預金の預入による支出が680,505千円、短期貸付けによる支出が391,121千円あったこと等によるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フローは2,089,286千円の支出（前年同四半期連結累計期間比6,391,674千円収入増）となりました。その主な要因は、長期借入れによる収入が2,400,000千円あった一方、長期借入金の返済による支出が2,969,825千円、配当金の支払額が1,443,984千円あったこと等によるものであります。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末に比べて7,632,869千円増加し、22,003,973千円となりました。

### (3) 連結業績予想に関する定性的情報

業績予想につきましては、平成24年10月29日に公表いたしました通期の連結業績予想から変更はありません。

## 2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

### (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

### (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更)

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更しております。

なお、これによる当第2四半期連結累計期間の損益に与える影響は、軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	15,268,264	22,918,624
受取手形及び売掛金	51,737,639	43,892,946
有価証券	71,327	12,592
商品及び製品	6,982,476	6,989,514
仕掛品	1,493,513	2,149,742
原材料及び貯蔵品	774,640	802,629
その他	6,302,165	6,145,007
貸倒引当金	△169,303	△142,185
流動資産合計	82,460,723	82,768,870
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	8,009,183	8,948,217
土地	8,082,514	8,117,041
貸与資産(純額)	51,202	54,172
賃貸不動産(純額)	8,936,935	8,788,682
その他(純額)	1,673,332	1,537,895
有形固定資産合計	26,753,167	27,446,010
無形固定資産		
のれん	6,972,796	6,733,747
その他	481,885	465,686
無形固定資産合計	7,454,682	7,199,433
投資その他の資産		
長期貸付金	6,596,353	6,392,222
その他	8,703,929	9,066,330
貸倒引当金	△1,979,212	△1,996,472
投資その他の資産合計	13,321,071	13,462,080
固定資産合計	47,528,921	48,107,525
資産合計	129,989,644	130,876,395

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成24年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	49,819,761	48,876,459
短期借入金	1,615,000	2,180,000
未払法人税等	1,981,699	2,113,114
賞与引当金	1,302,621	1,384,445
工事損失引当金	22,768	22,768
その他	13,195,421	11,990,415
流動負債合計	67,937,272	66,567,203
固定負債		
社債	3,108,000	2,526,000
長期借入金	19,369,972	18,998,672
退職給付引当金	1,885,231	1,907,529
資産除去債務	167,434	172,425
その他	2,265,421	2,258,367
固定負債合計	26,796,059	25,862,994
負債合計	94,733,332	92,430,198
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,667,081	5,667,081
資本剰余金	10,036,491	10,036,491
利益剰余金	18,649,996	21,612,550
自己株式	△1,059	△1,059
株主資本合計	34,352,509	37,315,063
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	383,887	576,730
為替換算調整勘定	2,256	△11,485
その他の包括利益累計額合計	386,144	565,245
少数株主持分	517,658	565,888
純資産合計	35,256,311	38,446,197
負債純資産合計	129,989,644	130,876,395



(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 四半期連結損益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
売上高	81,116,590	107,808,997
売上原価	69,239,267	92,295,329
売上総利益	11,877,323	15,513,668
販売費及び一般管理費	7,561,651	8,762,042
営業利益	4,315,671	6,751,625
営業外収益		
受取利息	184,325	169,539
受取配当金	30,905	34,703
負ののれん償却額	329,558	329,558
持分法による投資利益	18,078	15,160
その他	302,149	189,136
営業外収益合計	865,017	738,098
営業外費用		
支払利息	190,301	178,882
その他	53,905	26,618
営業外費用合計	244,206	205,500
経常利益	4,936,483	7,284,223
特別利益		
固定資産売却益	12,815	196
退職給付制度改定益	73,587	—
負ののれん発生益	—	1,258
特別利益合計	86,402	1,455
特別損失		
投資有価証券売却損	1	5,658
投資有価証券評価損	7,463	—
固定資産売却損	—	67
固定資産除却損	41,120	11,426
事業構造改善費用	16,288	90,015
自己株式取得費用	—	26,617
特別損失合計	64,873	133,784
税金等調整前四半期純利益	4,958,012	7,151,894
法人税、住民税及び事業税	1,611,308	2,443,256
法人税等調整額	264,464	245,026
法人税等合計	1,875,772	2,688,282
少数株主損益調整前四半期純利益	3,082,239	4,463,612
少数株主利益	74,534	57,074
四半期純利益	3,007,705	4,406,538

四半期連結包括利益計算書  
 第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	3,082,239	4,463,612
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△785,217	192,843
為替換算調整勘定	△18,103	△17,311
その他の包括利益合計	△803,320	175,531
四半期包括利益	2,278,919	4,639,143
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,215,233	4,585,639
少数株主に係る四半期包括利益	63,685	53,504

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	4,958,012	7,151,894
減価償却費	735,668	823,220
のれん償却額	372,367	568,608
負ののれん償却額	△329,558	△329,558
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△16,932	△9,857
賞与引当金の増減額 (△は減少)	50,701	81,823
受取利息及び受取配当金	△215,231	△204,243
支払利息	190,301	178,882
持分法による投資損益 (△は益)	△18,078	△15,160
売上債権の増減額 (△は増加)	9,019,888	7,844,693
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△743,272	△691,255
仕入債務の増減額 (△は減少)	△7,242,696	△943,301
前受金の増減額 (△は減少)	83,169	△164,137
その他	48,294	△1,176,690
小計	6,892,634	13,114,917
利息及び配当金の受取額	229,486	224,393
利息の支払額	△191,690	△173,147
法人税等の支払額	△958,215	△2,319,760
営業活動によるキャッシュ・フロー	5,972,214	10,846,402
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△940,218	△680,505
定期預金の払戻による収入	869,730	721,750
有形固定資産の取得による支出	△2,531,826	△1,487,702
有形固定資産の売却による収入	28,148	720
無形固定資産の取得による支出	△40,830	△73,549
投資有価証券の取得による支出	△523,273	△2,617
投資有価証券の売却による収入	—	8,059
子会社株式の取得による支出	△6,000	△2,000
短期貸付けによる支出	△1,030,000	△391,121
短期貸付金の回収による収入	688,248	1,537
長期貸付けによる支出	△300,000	△108,131
長期貸付金の回収による収入	381,352	895,842
その他	△11,873	15
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,416,542	△1,117,701

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△840,000	565,000
長期借入れによる収入	220,000	2,400,000
長期借入金の返済による支出	△5,358,775	△2,969,825
社債の発行による収入	98,590	—
社債の償還による支出	△1,334,000	△562,000
リース債務の返済による支出	△65,410	△76,462
配当金の支払額	△1,196,444	△1,443,984
少数株主への配当金の支払額	△3,226	△2,014
その他	△1,694	—
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>	<b>△8,480,961</b>	<b>△2,089,286</b>
現金及び現金同等物に係る換算差額	△10,357	△6,545
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,935,646	7,632,869
現金及び現金同等物の期首残高	21,750,246	14,371,104
現金及び現金同等物の四半期末残高	15,814,600	22,003,973

## (4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (5) セグメント情報等

## I 前第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック システム 事業	メディカル サプライ 事業	ヘルスケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	26,545,495	42,990,941	3,801,708	7,261,436	80,599,582	517,008	81,116,590	—	81,116,590
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	467,435	80,021	2,021	370	549,847	5,345	555,193	△555,193	—
計	27,012,931	43,070,962	3,803,729	7,261,807	81,149,430	522,353	81,671,784	△555,193	81,116,590
セグメント利益	2,353,857	872,357	567,177	784,308	4,577,700	75,723	4,653,423	△337,752	4,315,671

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△337,752千円には、セグメント間取引消去△142千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△344,264千円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日）

## 1 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期 連結損益 計算書 計上額 (注) 3
	トータル バック システム 事業	メディカル サプライ 事業	ヘルスケア 事業	調剤薬局 事業	計				
売上高									
(1) 外部顧客に対する 売上高	39,567,526	50,827,572	9,264,111	7,635,831	107,295,042	513,955	107,808,997	—	107,808,997
(2) セグメント間の内部 売上高又は振替高	605,605	193,197	1,792	—	800,595	5,268	805,864	△805,864	—
計	40,173,132	51,020,770	9,265,903	7,635,831	108,095,637	519,224	108,614,862	△805,864	107,808,997
セグメント利益	5,010,526	879,990	325,523	696,421	6,912,461	78,109	6,990,571	△238,945	6,751,625

(注) 1 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、動物病院事業、理化学機器販売事業等を含んでおります。

2 セグメント利益の調整額△238,945千円には、セグメント間取引消去32,727千円、各報告セグメントに配分していない全社費用△272,849千円等が含まれております。全社費用は、主に親会社本社の営業費用及び報告セグメントに帰属しない販売費及び一般管理費であります。

3 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれんに関する情報

当第2四半期連結累計期間において、固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動及び重要な負ののれん発生益の認識はありません。

## 3 報告セグメントの変更等に関する事項

会計上の見積りの変更と区別することが困難な会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産については、改正後の法人税法に基づく減価償却の方法に変更したため、報告セグメントの減価償却の方法を改正後の法人税法に基づく方法に変更しております。

この変更による影響は軽微であります。

## (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。